

# O unico encontro na vida

～一期一会の思いを込めて～

No.2 2017.10.10

パラナ州都であるクリチバ市（標高およそ 940m）から約 400 km離れたマリンガ市（パラナ州で住みたい街、第1位に選定）まで、バスに揺られて約 10 時間、腰も背中もちこちです。

マリンガ市教育局へ挨拶に出向いたところ、バリキリア教育局長とも面談することができました。バリキリア氏は、学校教育に「掃除活動」を取り入れたい考えをもち、日本の学校教育に関心を抱いていました。教育談議が進む中で、翌日のCMA I（幼児教育）開校式に招待をされました。



【写真左から、教育局長、マリンガ市長、マリオ、マリンガ市副市長】

## 日本と母国の言葉や文化の壁 両者を尊重することで道は開く

マリンガ日本語学校で、日本からの帰国者 6 名と面談をしました。面談内容（一部抜粋）は下表のとおりです。帰国当初は、言葉や文化のちがいによる戸惑いが大きいようです。

| 氏名  | 年齢   | 日本での滞在                       | 家族                                  | 帰国時に感じたこと<br>●困った ○よかった  | 日本語学校との関わり   | 備考   |
|-----|------|------------------------------|-------------------------------------|--|--|--|
| 伊木  | 20 男 | 日本生まれ<br>～5歳まで滞在             | 父母<br>:ブラジル人                        | ●言葉が通じない。<br>●文化の違い。<br>(規律順守、そじ、人を敬う心、など)<br>○家族や親感が多くいる。       | ・帰伯時、学校文化や社会生活の違いに戸惑った。<br>・日本語学校での学びに救われた。<br>・14歳まで日本語学校に通う。 | ・13～14歳にブラジルに帰った子は、ブラジル生活に不便さを感じると思う。<br>*日本の利便性を知っているため                         |
| 三都主 | 12 男 | 日本生まれ(埼玉)<br>～8歳まで滞在         | 父:ブラジル人<br>母:日本人<br>妹:9歳、3歳<br>弟:6歳 | ○日本人はちゃんとしている。<br>・そじ<br>・授業<br>・バランスのよい給食                       | ・日本語や日本文化を忘れないため。<br>・祖父母と日本語で話したい。                            | ・転居が多かった。<br>埼玉→名古屋→宇都宮→岐阜<br>・帰伯前に、大垣市のブラジル学校に通い、学研等で日本語を学んだ。                   |
| 佐藤  | 13 女 | 日本生まれ<br>(岡崎、六ッ美)<br>～9歳まで滞在 | 父:ブラジル人<br>母:日本人<br>*一人っ子           | ●言葉の使い方や書き方に戸惑った。<br>●学校文化の違い*ブラジルは…<br>・図工は絵を描くだけ<br>・体験的な学習がない | ・両親の意向で通っている。  | ・帰伯前に、ポ語を習った。<br>・4年ではなく、2年に所属。<br>・午前は市立学校へ、午後は日本語学校、公文、陸上に通う。                  |
| 生田  | 25 男 | 日本生まれ<br>～6歳まで滞在             | 父母<br>:ブラジル人<br>妹:23歳               | ●文化の違いや言葉の壁を痛感した。<br>・規律<br>・授業中の生徒の態度                           |  | ・15才で両国のよさを見つめられるようになった。<br>*文化を理解する大切さを実感<br>・日伯ハーフという考えではなく、両者を尊重する大切さに気づかされた。 |

### ■■ 小中学生のみなさん！今回の出題は3問です。



Q3 区間内定額のバス  
乗車料金はいくら？  
※1リアル=35円で計算



Q4 マリンガ市民が住むアパートです。日本のアパートと比較すると、外観に相違があります。どこにちがいがあるのでしょうか？

◆ヒント:毎日の日常生活

<通信No.2の答えは次号で>